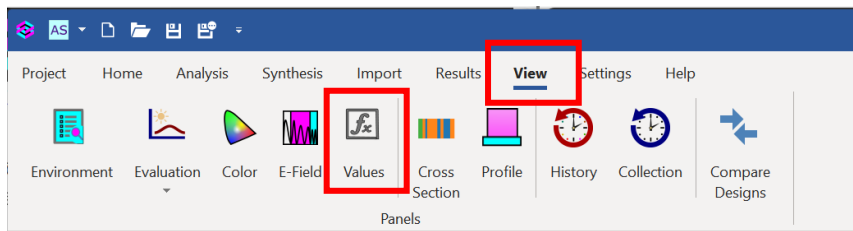


OTF Studio ver.24.15 の更新内容

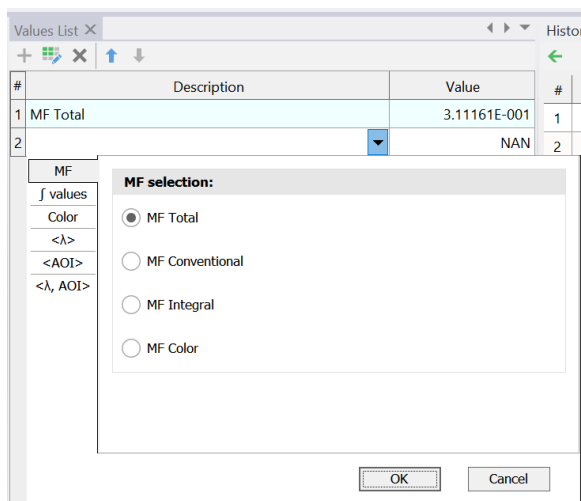
【更新内容】

- 複数の値（分光特性および色空間の積分値、平均値）を表示する多目的パネルを組み込みました。Value パネルの中で、設定されている積分値や平均値の値を簡単に見ることができます。

①Value パネルを選択します。



②表示させたい項目を(+)で追加選択します。

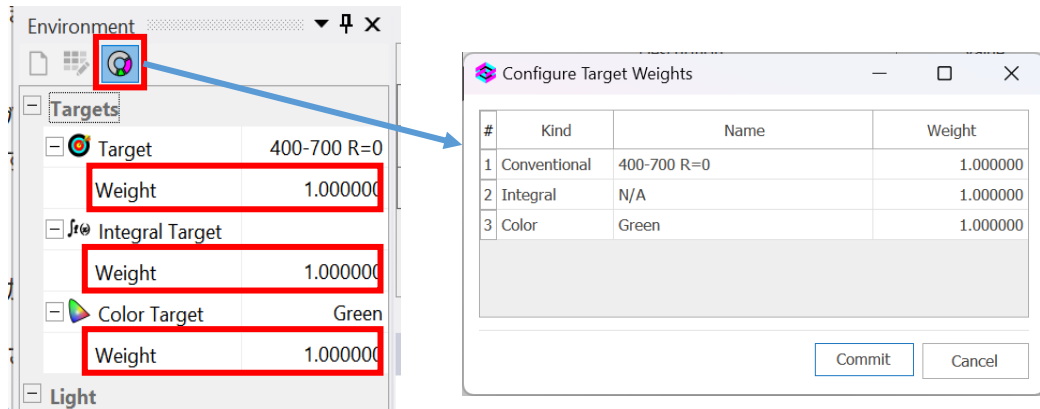


③選択した項目の値が一覧表示されます。

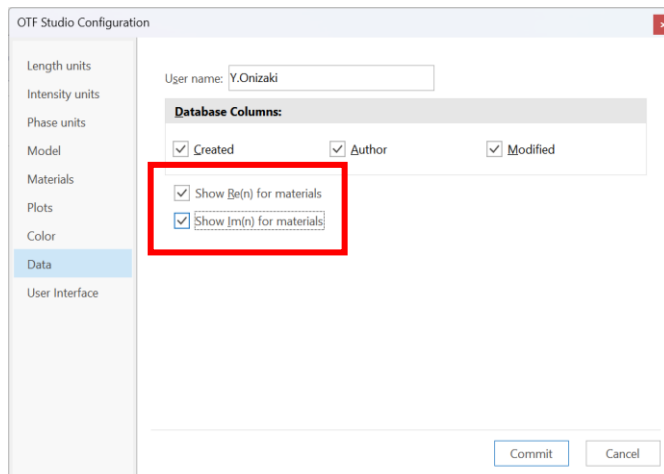
The screenshot shows the 'Values List' dialog box with a list of values. The table has columns for '#', 'Description', and 'Value'. The table contains 16 rows of data.

#	Description	Value
1	MF Total	8.82368E+001
2	MF Conventional	3.43792E-001
3	MF Color	0.00000E+000
4	a* Rs, 0°	-40.217928
5	b* Rs, 0°	40.183306
6	<Rp> 11° [280.00,988.00]	57.309384
7	L* Rs, 0°	74.843354
8	MF Integral	8.81807E+001
9	CIE STANDARD ILLUMINANT "A" - Ts 10°	0.274731
10	CIE STANDARD ILLUMINANT "A" - Ts 0°	0.272573
11	Min Ra 11° [280.00,988.00]	0.491650 @634.00
12	Min As 555.00 [11°,44°]	0.000000 @15.96
13	Max Ta 666.00 [12°,34°]	82.811126 @12.00
14	<GDtp> [455.00,899.00][11°,44°]	22.074013
15	Min Ptp [555.00,799.00][10°,54°]	180.011764 @(749.02,35.47)
16	Max GDtp [455.00,899.00][11°,44°]	137.464572 @(785.25,11.75)

2. 各ターゲットの重み係数(Weight)を設定できるようにしました。Environment パネルのアイコンから設定パネルを開くか、Weight に直接値を入れて設定します。Weight は大きくするほど、その項目が強く重視されます。

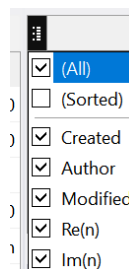


3. Substrate (基板) と Material (材料) の屈折率(Re(n))と消衰係数(Im(n))をデータベースパネルに表示できるようにしました。表示の ON, OFF は Settings の General Options にある Data の中で設定可能です。



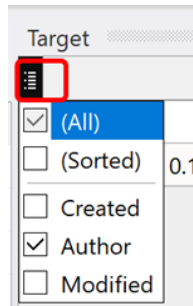
	Name	Created	Author	Modified	Re(n)	Im(n)
1	air	2021/03/10 (水) 12:03:56	Onizaki	2021/03/10 (水) 12:03:56	1.000000	0.00000000
2	B-270	1998/06/25 (木) 13:40:32	Catalog	2007/07/20 (金) 12:55:25	1.526738	0.00000008

ここをクリックしても設定可能です。



なお、表示されている Re(n) と Im(n) の波長は Settings → General Options → Length units の中の Reference Wavelength で変更可能です。

4. Import の Substrate（基板）に新しく 7 種類を追加しました。
5. MO モードで Witness Chips（モニターガラス）の設定で Column エディターが使えるようになりました。また、Chip 数だけ入れて Enter キーを押した時に Chips が増えないまま Window が閉じてしまわないように修正しました。
6. Design Editor で選択した表示列の設定はテーブル毎に個別保存されるようにしました。



Substrate			
	Name	Re(n)	Im(n)
1	IRG201	2.529300	0.00000000
2	IRG202	2.526500	0.00000000
3	IRG203	2.626100	0.00000000
4	IRG204	2.809500	0.00000000
5	IRG205	2.642300	0.00000000
6	IRG206	2.819700	0.00000000

7. RE モードで屈折率(Re(n))、消衰係数(Im(n))のリバースを実施後、Results から Design を Save してもリバースした内容によっては値が保存されない場合があったのを修正しました。
8. Settings→General options→Materials にある Style, Colors 列に表示上のバグがあったのを修正しました。
9. CH モードで Environment の Substrate 欄が Air でなく、空白であった場合に Fitting されなかったのを修正しました。
10. Design Builder を閉じてから開くと、空のパネルが開いてしまうのを修正しました。
11. Load した Design(設計)が修正(Modified)された場合に、[M]のフラグが Environment パネルの Design に表示される仕様が、常時表示になっていたために修正しました。
12. MO モードで Materials に真空中の屈折率データを使用すると Runsheet を保存した後設計物理膜厚が若干変化してしまったのを修正しました。これ問題は光量変化の中間計算に光学膜厚を使用したことが原因でした。現在は物理膜厚による処理に修正しました。

13. MO モードでときどき Design が編集(Edit)できないことや 成膜材料(Materials)が Load されないことがあったのを修正しました。

以上